

Table with columns for business name, codes, course, class, telephone number, budget category, and legal basis. Includes '【国保会計】特定健康診査等事業' and '国民健康保険班'.

1 現状把握(Do)

(1) 事業概要

Table detailing business overview including business period, content, and implementation status. Includes checkboxes for '単年度繰返' and '期間限定複数年度'.

(2) トータルコスト

Table showing total costs and personnel expenses. Includes sub-tables for '事業費の内訳' and '延べ業務時間の内訳'.

(3) 事務事業の手段・目的・上位目的及び対応する指標

Large table mapping activities, objectives, and indicators. Columns include activity names, units, and performance data for 23rd, 24th, 25th, and 26th years.

(4) 事務事業の環境変化、住民意見等

Table discussing environmental changes and resident opinions. Includes questions about implementation progress and stakeholder feedback.

事務事業名	【国保会計】特定健康診査等事業	課名	保険年金課	班名	国民健康保険班
-------	-----------------	----	-------	----	---------

2 評価 (Check1) 担当者による事後評価

目的 妥当性 評価	① 施策体系との整合性 この事務事業の目的は市の施策体系に結びつくか？意図することが上位目的に結びついているか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている ⇒【理由】 健診受診率の向上が、生活習慣病予防につながり、医療費の削減となる。
	② 対象・意図の妥当性 対象を限定・追加すべきか？意図を限定・拡充すべきか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 適切である ⇒【理由】 国で指定されている40～74歳の対象者への健診は継続実施し、今後も受診率向上に努める。旭市任意で35～39歳を対象に健診を実施しているが、健診結果から保健指導を要する方が見られ、早期からの生活習慣病予防への働きが必要である。
	③ 行政関与の妥当性 なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して実施すべきか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である ⇒【理由】 医療保険者による実施が義務づけられている。
有効性 評価	④ 成果の現状水準 あるべき水準や目標に達しているか？近隣市や類似団体と比較してどうか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である ⇒【理由】 内臓脂肪症候群該当者数は25年度目標水準であり、内臓脂肪症候群予備群数は第2期特定健康診査等実施計画最終年度 (H29年度) の目標値を達成している。
	⑤ 成果の向上余地 次年度以降の成果向上が期待できるか？事務事業を取り巻く環境変化等を考慮するかどうか？成果の向上余地はどの程度あるか？	<input checked="" type="checkbox"/> 活動量を増やせば成果は向上する ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 活動量を増やさなくても、やり方を工夫することで成果は向上する ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 活動量を増やしたり、活動を工夫したりしても、今以上成果は向上しない ⇒【理由】 健診未受診者対策、若い世代への健康診査受診勧奨及び人間ドック受診機会の拡大 (人間ドック受診も特定健診受診として扱われる) をしていくことで受診率の向上を図り、かつ保健指導につなげることで、成果は向上する可能性がある。
	⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業の他 (民間・国県を含む) に方法があるか？ ↓ 他に手段がある場合 (1) 具体的にはどのような事務事業か？ (2) 類似事業との統廃合ができるか？類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか？	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がある (1) 事務事業名: (がん検診等) (2) <input type="checkbox"/> 統廃合ができる ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 連携ができる ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 既に統廃合・連携している ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 集団健診においても、同時実施できるがん検診と連携を取りたい。平成26年度より、集団健診会場で大腸がん検診および前立腺がん検診を同時実施していく。
効率性 評価	⑦ 事業費の削減余地 (表面トータルコストの事業費部分) 事業費を削減できないか？(経費の精査、過剰仕様の適正化、回数削減、住民の協力、アウトソーシングなど)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 特定健診の受診率アップを目標としているため、受診者数が増加すると、委託料等が増える。健診料金の自己負担徴収は、受診率低下となる可能性がある。
	⑧ 人件費の削減余地 (表面トータルコストの人件費部分) やり方の工夫 (業務プロセスの改善など) や臨時職員の活用・委託により、正規職員の延べ業務時間を削減できないか？	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 健診受付業務及び健診結果処理業務を臨時職員等で行うことは可能。また、健診委託業者との調整により、集団健診における正規職員の業務時間を削減ができる可能性がある。
	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】 集団健診 (各保健センターが会場) が個別健診 (指定医療機関) のどちらでも実施できる体制であり、土曜・日曜日健診も実施している。今後も受診しやすい体制を整えていく。

3 評価 (Check2) 担当課長による評価結果と総括

(1) 1次評価者としての評価結果		(2) 全体総括 (振り返り、反省点)	
① 目的妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	内臓脂肪症候群該当者数及び内臓脂肪症候群予備群数は計画目標値の水準に達しているが、更に削減をしていくため、今後も受診しやすい体制を整えて受診率の向上と保健指導につなげていくようにする。	
② 有効性	<input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり		
③ 効率性	<input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり		
④ 公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり		

4 今後の方向性 (事務事業担当課案) (Plan)

(1) 今後の事業の方向性 (複数選択可) ※2～3年後を目処にした方向性		(3) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要)																						
<input type="checkbox"/> 目的再設定 <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善による成果向上 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善による事業費削減 <input type="checkbox"/> 受益機会の適正化 <input type="checkbox"/> 廃止・休止	<input type="checkbox"/> 行政関与の見直し <input checked="" type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 (関連事業: がん検診) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善による延べ業務時間削減 <input type="checkbox"/> 費用負担の適正化																							
(2) 改革改善案について ※いつまでに、なにを、どうするのか？ いつまでに: _____ なにを、どうするのか? _____																								
平成26～29年度の第2期特定健康診査等計画期間に取り組む ①平成26年度健診通知に受診勧奨チラシを同封する。②早期受診勧奨 (35～39歳) を拡充する (全員通知)。③集団健診会場でも大腸・前立腺がん検診を同時実施し、他のがん検診についても協議していく。④集団健診受付業務と結果処理業務の効率化を検討する。		<table border="1"> <tr> <td></td> <td></td> <td colspan="2">コスト</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト				削減	維持	増加	成果	向上		○		維持				低下			
		コスト																						
		削減	維持	増加																				
成果	向上		○																					
	維持																							
	低下																							
(4) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題 (壁) とその解決策 ①②なし、③がん検診は国民健康保険被保険者以外も受診するため、特定健診とがん検診の健診受診方法の調整が必要である。 ④臨時職員の確保と健診委託業者との調整																								